

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-3 母子保健の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

健康推進課長 知念 希和

電話番号

0852-22-5248

事務事業の名称	親と子の医療費助成事業	
目的	(1) 対象	治療や検査を受ける児童等
	(2) 意図	疾病等の早期発見と早期治療を促進し、健康を保持・増進させる。
事業概要	乳幼児等医療費助成：乳幼児等の疾病の早期発見・治療を促進するため、市町村に対して事業経費を補助する。 未熟児養育医療給付：重症な未熟児の健全育成を図るため、指定医療機関に対して、患者負担医療費を給付する。 育成医療・結核患児療養給付：身体障がい児・結核患児の治療を促進するため、指定医療機関に対して、患者負担医療費を給付する。 障がい児療養支援：障がい児の県外医療機関での入院治療経費負担を軽減するため、特定団体に対し、事業経費を補助する。 先天性代謝異常検査：新生児の疾病を早期に発見するため、医療機関に対して、検査を委託して実施する。 特定不妊治療費助成：子供がでにくい夫婦の不妊治療を促進するため、治療を受けた夫婦に対して、費用の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	医療費等助成件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		730,000	730,000	730,000	730,000	
式・定義	各活動における医療費等助成・給付件数（児童数減等に伴い減少傾向）	実績値	731,029	751,629	744,437	737,429		
		達成率		103.00	102.00	101.10		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	716,125	800,160
うち一般財源(千円)	422,008	516,071

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度実績

- ・乳幼児等医療費助成 724,644件（531,322千円）
- ・未熟児養育医療給付 2件（8,694千円）
- ・育成医療・結核患児療養給付 3件（6,190千円）
- ・障がい児療養支援 54件（3,192千円）
- ・先天性代謝異常等検査 11,792件（16,868千円）
- ・特定不妊治療費助成 934件（114,235千円）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

乳幼児等医療費助成を受ける際、従来は他公費との併用を行う場合は乳幼児等医療費助成部分については患者が一旦窓口で支払わなければならなかったが、平成26年10月の改正により、原則として現物給付が可能となり、保護者の負担軽減につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・本来、育成医療や未熟児養育医療といった国の制度が乳幼児等医療費助成制度に優先して適用されるべきであるが、それが徹底されておらず、育成医療・未熟児養育医療の申請をされない方がおられる。そのため、育成医療・未熟児養育医療対象者の正確な数が分からず、実態が把握できていない。また、障がい児療養支援制度を利用できるにも関わらず、申請を行っていない場合があると思われる。
- ・男性の不妊治療への参加が遅い。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・受給者や、実施主体である市町村に対し、育成医療・未熟児養育医療の申請の必要性及び優先適用の必要性の周知が十分に行われていない。
- ・男性不妊についての理解が不十分である。

③原因を解消するための「課題」

- ・育成医療・未熟児養育医療の申請の必要性及び優先適用の必要性の周知方法の検討が必要。
- ・男性不妊に係る意識啓発等が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・引き続き、各助成制度の周知を図っていく。また、未熟児養育医療給付及び育成医療給付事業は、H25年度から市町村に権限移譲されており、引き続き円滑な制度運用が図られるよう支援していく。
- ・男性不妊に係る啓発事業を実施する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）